

Furusatogaeri
みどころ
場面

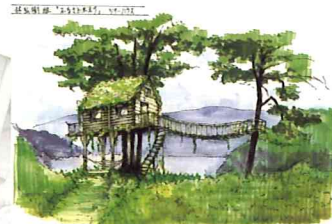
市内ロケの中でも特別な撮影シーンがいくつもありました。手の込んだセットから大がかりな現場まで数あるシーンの中から少しだけ紹介します。映画のどこで使われているかは、公開までのお楽しみに！

場面その1



ツリーハウス

四人の少年たちの隠れ家。昔、多くの子供たちがあこがれた秘密基地をツリーハウスとして、阿木川ダム湖の浮き島の3本の木を利用して、この映画のために具現化しました。「ふるさとがえり」美術デザインは、土屋アンナさんが主演して話題になった、映画「さくらん」の美術監督を務めた岩城南海子（いわきなみこ）さんが担当しました。ツリーハウスの部屋の細部にまで20年前を再現したテクニックは見事でした。残念ながら、撮影終了後、解体されましたが映画の中でじっくりお楽しみください。



岩城南海子さんのスケッチ

場面その2



夏祭りの再現

主人公「勘治」と「百合」が町の夏祭りでの出会い、子供の頃を回想する幻想的なシーン。三郷町の全面協力で夏祭りを再現しました。撮影当日は、昼過ぎまで降り続いた雨が奇跡的に上がり、スタッフ総出でグラウンド整備をして、撮影を決行。エキストラ300人が浴衣など夏のいで立ちで参加しました。クライマックスでは、恵奈手筒会の花火が二人のシーンを演出しました。夜には肌寒い夏祭りとしてはちょっと季節外れの時期、撮影は深夜におよび、寒さをこらえながらのたいへんなロケでした。



場面その3



消防操法大会

映画「ふるさとがえり」のお話は、消防団が多くの舞台になっています。火事場の再現や消火活動、そして訓練など、全編において恵那市の消防署と各地域の消防団のみならず全面的に協力をいただきました。なかでもクリスタルパークでの「消防操法大会」の再現では、恵那市13地域から300人の消防関係者がエキストラで参加していただきました。キャストの4人も短い時間で訓練を重ね、見事に消防操法を実演していました。関係者に聞くと「細かな部分はまだまだだが、短い時間でよくできたと思います。さすが役者さんですね」と感心していました。ご期待ください！

場面その4



火災現場

物語の中で重要な場面として登場する火災現場のシーン。重要なシーンだけにリアリティを追求し、本当の火事を撮りたいという林監督の思いに市内各地で候補地を捜索しました。第一候補だった上矢作の旧木の実トンネルを撮影当日になりながらイメージにあわなくて断念。次候補だった三郷町の空き屋を使用することに決定するが目的の空き家は、木々の生い茂る森の中、さっそくメンバーによる伐採作業を開始、7日間に渡る大作業をへて9月24日に見事に火災現場の撮影を成功させました。

今後のスケジュール

- 12月中頃：関係者0号試写
- 12月末頃：恵那地区チケット販売開始
- 1月末頃：恵那市、13町、企業関係者、岐阜県域マスコミ初号試写
- 2月末頃：世界映画祭出品開始
- 4月末頃：作品調整、全国PR活動
- 5月末頃：恵那13町上映開始
- 6月以降：岐阜県域上映開始
- 6月：全国公開一般配給開始
- 恵那市操法大会連動 凱旋上映
- その他、恵那市各イベントとの連動上映を予定

映画上映に向けてお手伝いいただけるボランティアスタッフを募集しています。お電話かホームページからお問い合わせください。

Furusatogaeri
映画資金
協賛方法

個人協賛 1口 1,000円～
団体協賛 1口 10,000円～

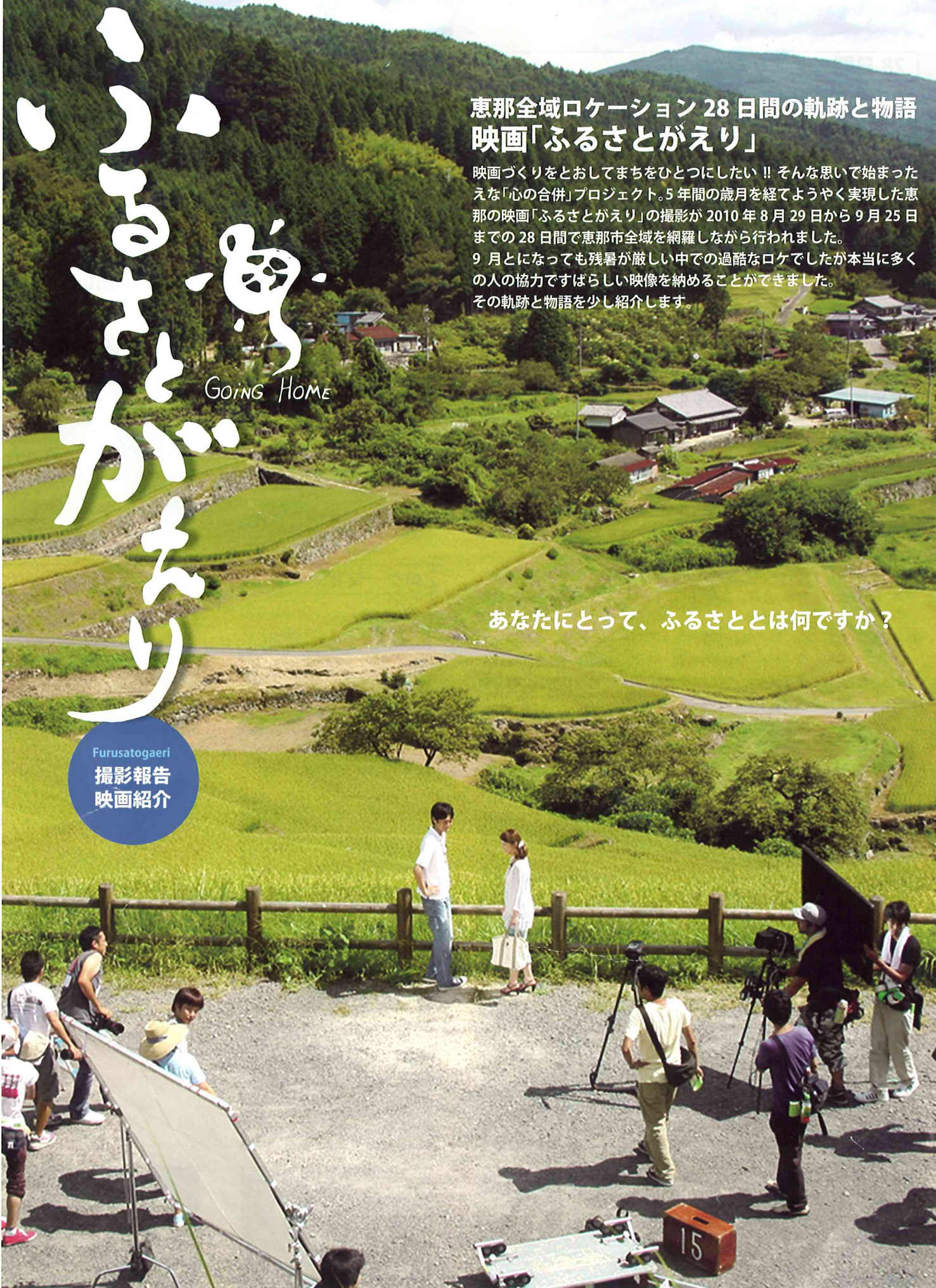
ゆうちょから 口座記号番号 00810-3-120112 口座名 恵那「心の合併」プロジェクト

銀行振込 十六銀行恵那支店 普通 1528679 口座名 恵那「心の合併」プロジェクト 代表 小坂順次

現金での協賛は 受付窓口または、えなここサポーターに声をかけてください!!

協賛金5万円以上で映画エンドクレジットに名前を掲載させていただきます。

恵那ふるさと映画制作実行委員会 <http://enakoko.com/>
●事務局 〒509-7201 恵那市大井町 2087-79 TEL & FAX 0573-22-9211



恵那全域ロケーション 28日間の軌跡と物語
映画「ふるさとがえり」

映画づくりをおしてまちをひとつにしたい!! そんな思いで始まったえな「心の合併」プロジェクト。5年間の歳月を経てようやく実現した恵那の映画「ふるさとがえり」の撮影が2010年8月29日から9月25日までの28日間で恵那市全域を網羅しながら行われました。9月ともなっても残暑が厳しい中での過酷なロケでしたが本当に多くの人の協力ですばらしい映像を納めることができました。その軌跡と物語を少し紹介します。

あなたにとって、ふるさととは何ですか？

Furusatogaeri
撮影報告
映画紹介

28日間ロケスケジュール

- 8月29日(日) 坂折棚田(中野方)、不動の滝(中野方)、飯地小学校(飯地)
- 8月30日(月) 明知鉄道明智駅(明智)、林昌寺(山岡)
- 8月31日(火) 寒天工場(山岡)、明知鉄道明智駅車庫(明智)、田園地帯の道(岩村)
- 9月1日(水) 中村映劇(名古屋市内)、スナックさくら(大井)
- 9月2日(木) 明智駅、上矢作病院(上矢作)
- 9月3日(金) 小坂邸(大井)、林邸(大井)、稲刈り(大井)
- 9月4日(土) 林昌寺(山岡)
- 9月5日(日) 天瀑山(岩村)、花白温泉(山岡)
- 9月6日(月) 飯羽間付近(岩村)、亀の子団軽トラ並走の道(上矢作)
- 9月7日(火) 小沢たばこ店(大井)、山岡第三分団器具庫(山岡)
- 9月8日(水) 連休
- 9月9日(木) 小坂邸(大井)、林邸(大井)、高台(東野)、小沢たばこ店(大井)、山岡第三分団器具庫(山岡)
- 9月10日(金) 一色交差点付近(岩村)
- 9月11日(土) 寿老の滝(三郷)
- 9月12日(日) 三郷小学校(三郷)、河村邸・伊藤邸(東野)、山岡第三分団器具庫(山岡)
- 9月13日(月) 岩村城跡(岩村)、三郷小学校(三郷)
- 9月14日(火) 阿木川湖・浮き島(岩村)、山岡第三分団器具庫(山岡)
- 9月15日(水) 農村景観日本一の地(岩村)
- 9月16日(木) 阿木川湖・浮き島(岩村)、飯地振興事務所、夏祭り・夜(三郷)
- 9月17日(金) 飯地小学校、飯地振興事務所、ふるさと民族資料館(飯地)
- 9月18日(土) 森邸(大井)、恵那峡川辺(大井)、上村川(上矢作)、林邸外観(大井)
- 9月19日(日) 飯地器具庫前グラウンド(飯地)、ふれあいグラウンド(中野方)、木曾川(長島・笠置)、山岡分団器具庫(山岡)
- 9月20日(祝) クリスタルパーク(武並)、浪漫亭付近(明智)、林昌寺(山岡)
- 9月21日(火) 阿木川湖・浮き島(岩村)、笠置神社(中野方)、林昌寺(山岡)
- 9月22日(水) 明知鉄道・畑(東野)、西行塚付近の道(長島)
- 9月24日(金) 実景・ささゆりの湯・お軽の滝(串原)、火災現場(三郷)
- 9月25日(土) ※空撮: 武並橋(笠置・武並)、東濃牧場(長島)

市民参加型映画の概要

- ◎撮影期間 28日間 2010年9月29日～9月25日まで
- ◎参加スタッフ 延 369人 →プロスタッフ 25人
→学生スタッフ 13人
京都大学、大阪大学、名古屋大学、近畿大学等
→市民スタッフ 331人
- ◎エキストラ参加 延 2700人
- ◎署名参加 3065人
- ◎構想～クランクアップまでの日数 1800日
- ◎協賛金での参加について (H19年度～H22年10月26日現在)
個人 983人(協賛金額 6,531,895円)
法人 178団体(協賛金額 9,014,533円)
募金・グッズ売上等(協賛金額 1,853,253円)
合計協賛金額 17,399,681円
- ◎ガソリン 15台分使用量 9375L(走行距離9万km)
- ◎ロケ時間(準備及び本番撮影時間) 約560時間
- ◎撮影時間(本番OKシーン) 約18時間
- ◎スタッフ平均睡眠時間 4時間
- ◎まかない 朝食 おにぎりの数(米消費量) 3360個(約100升)
昼食&夜食 弁当の数 2062食
ドリンク数 1050L
- ◎スタッフ宿舎 40人分 民家 7件(空き家)



西へ東へ、南へ北へ「ふるさとがえり」ロケ隊は、恵那の町を行ったり来たり、映画のプロと助っ人の大学生と市民と映画好きが協力し合って、今ふるさと映画が生まれようとしています。



ロケーションマップ



映画「ふるさとがえり」のあらすじ

都会を離れ、生まれ故郷の「栗里町」へ帰郷する男。そして、むかし、亀を助けた4人の子供たち。
2つの時代、2つの物語が交差しながら進行していく……。
家族の事情で助監督を辞め帰郷した相田勘治(32歳)は、久しぶりに再会した幼なじみの仲間に強引に地元の消防団に入団させられることになる。そして、新たな勤務先となった振興事務所の所長に頼まれ、当時、気になる存在だった幼なじみの加藤百合と合併し新しくなった市の観光ビデオ制作を任せられる。
一方、20年前の栗里町では、カンジ、ゴンちゃん、タカシ、がっちゃんの四人の少年たちが……。ある日、いいことをすると褒美をくれる心優しい「駄菓子屋のぼっちゃん」の言いつけで亀を助けることになる。それを機会に、少年たちは「亀の子団」を結成、馬鹿な遊びに明け暮れるのだった。そしてカンジは亀の子団が活躍する『栗里☆竜宮伝説』という冒険物語を書く。
消防団活動、そして操法大会の訓練は都会の生活に慣れた勘治には、やっかいでなかなか理解できないことだった。少年時代馬鹿な遊びに明け暮れた旧友たちが団員になっている。寒天屋のゴンちゃん、石材屋の尊志、明知鉄道に勤める曾我。消防団活動にひたむきな旧友たちを見て勘治の心は少しずつ変わっていく。ある事件をきっかけにまちで評判の悪かった消防団と栗里町の人々が「かつての大家族」ようになっていく。そんな中「栗里の人間」に戻りつつある勘治に映画監督デビューのチャンスが到来するが……。

ロケは、恵那市の各地を駆け巡りながら行われました。ロケ地は、この「ふるさとがえり」のストーリーにあわせ、クランクインの約1ヶ月前から選定が行われました。それぞれのまちでのシーンの収録ですが、物語での設定は、「栗里町」という恵那14番目の町です。さて、映画の中では、どんな町になるのでしょうか？

みなさんご協力ありがとうございました

主なキャスト

